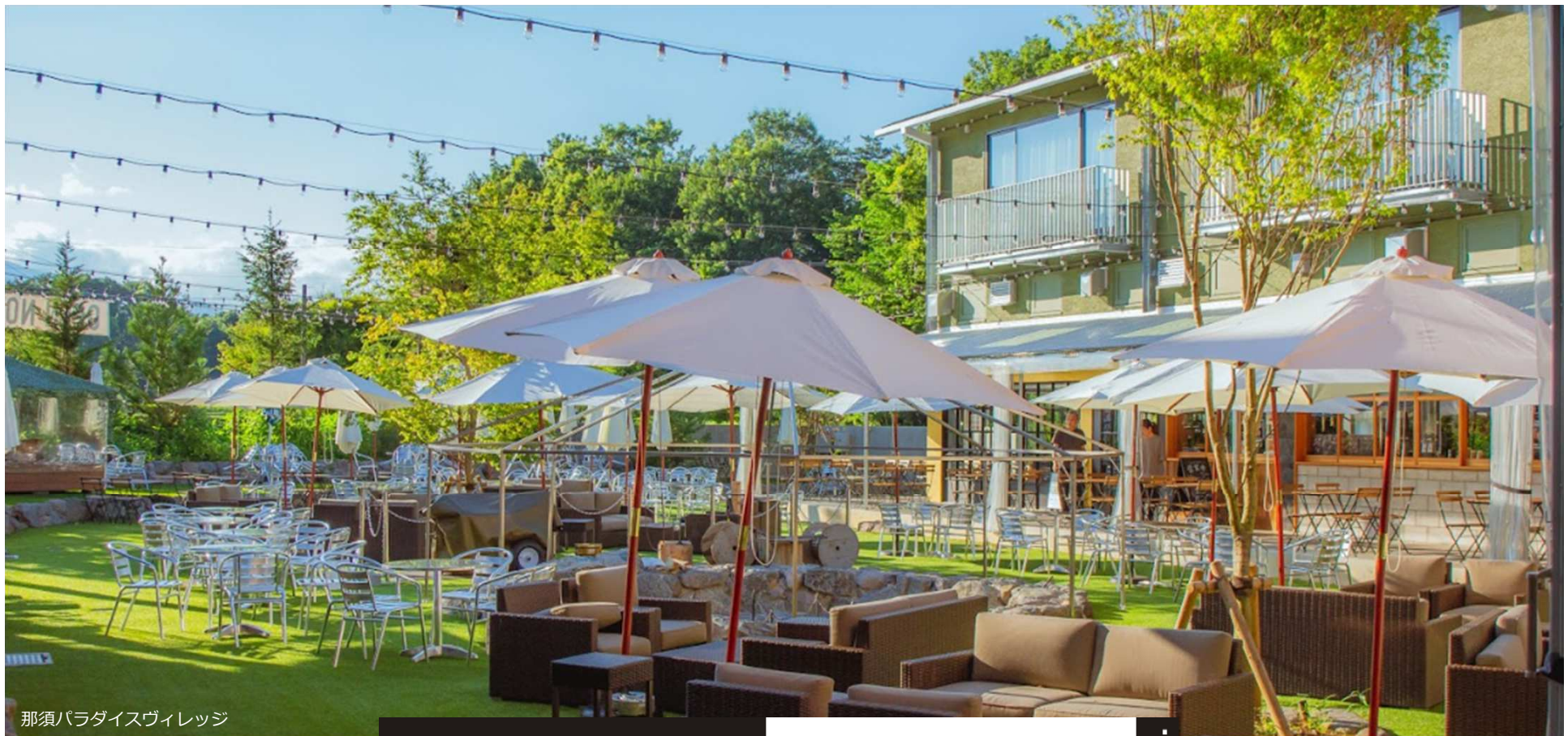




那須パラダイスヴィレッジ

GLOBAL-DINING INC.

決算説明会資料

2025年12月期第2四半期（中間）

株式会社グローバルダイニング（東証スタンダード 7625）

2025/8/7

Contents

2025年12月期2Q（中間）

I. 業績サマリー

・（連結）決算ハイライト	4
・ 会社別実績概要	5
・（連結）営業利益（コスト）増減要因	6
・（連結）貸借対照表の概要	7
・（連結）キャッシュ・フローの概要	8

II. 事業計画サマリー

・（連結）2025年12月期 通期計画	10
---------------------	----

III. 2025年上期の概況

・ 出退店等	12
・ 2025年上期の主な取り組み（国内）	13
・（国内）業態別業績	14
・ 2025年上期の主な取り組み（米国）	15
・（米国子会社）業態別業績	16

IV. 2025年下期の取り組み

・ 国内	18
・ 米国子会社	21
・ 株主還元について	22

【参考資料】

・（国内）売上高前年対比率 月次推移	24
・（国内）客数・客単価の前年対比率 月次推移	25
・（連結）展開コンセプト	26
・（国内）コンセプト別 売上高2Q 5期推移	27
・（国内）コンセプト別 営業利益率2Q 5期推移	28
・（国内）2025年2Q 損益計算書概要	29
・（米国子会社）2025年2Q 損益計算書概要	30
・ 赤字店舗一覧 2025年2Q	31
・ 会社概要	32
・ 注意事項	33

I. 業績サマリー

(連結) 2025年12月期 2Q決算ハイライト

連結

(単位：百万円)	2025年 2Q実績	2024年 2Q実績	前年同期比
売上高	6,402	5,776	+10.8%
売上原価 ※	5,595	4,804	+16.5%
売上原価率	87.4%	83.2%	+4.2pt
販管費 ※	619	572	+8.1%
販管費率	9.7%	9.9%	▲0.2pt
営業利益	187	399	▲53.1%
営業利益率	2.9%	6.9%	▲4.0pt
経常利益	115	395	▲70.7%
中間純利益	10	480	▲97.8%
為替レート(USD/JPY)	144.81円	161.07円	

■売上高 10.8% 増

- ・新店開業による増収
国内「那須パラダイスヴィレッジ」3月19日グランドオープン
米国「Settecento」1月23日グランドオープン
- ・国内既存店はインバウンド需要が引き続き堅調に推移、
メニュー＆価格改定の浸透により、客数・客単価が伸び増収。

■売上原価率 4.2ポイント 悪化

国内「那須パラダイスヴィレッジ」の開業準備費用等の計上で悪化。

■販管費率 0.2ポイント 改善

米国新店オープンによる売上増加で米国販管費率が大きく改善。

■営業利益率 4.0ポイント 悪化

前年同期比で減益となったものの、1Q営業赤字より黒字転換。

■経常利益

米国子会社への円建貸付金において、円高による為替換算の影響で、
米国側で為替差損50百万円を計上。

■中間純利益

前中間期は法人税等調整額として102.8百万円の利益を計上していた
一方、当中間期は繰越欠損金が解消されたことで税金費用が発生した
ため、中間純利益は前年同期比で大きく減少。

会社別実績概要

国内

(単位：百万円)	2025年 2Q実績	2024年 2Q実績	前年同期比
売上高	5,303	4,914	+7.9%
営業利益	244	474	▲48.5%
営業利益率	4.6%	9.6%	▲5.0pt
中間純利益	135	541	▲75.0%

■売上高 7.9% 増 (既存店+5.7%)

- ・新店開業による増収
- ・既存店好調
ラ・ボエム（前年同期比+9.4%）、ゼスト（同+10.8%）好調
インバウンド需要は引き続き好調を維持。

■営業利益率 5.0ポイント 減

大型複合施設「那須パラダイスヴィレッジ」で多額の開店準備費用を計上し、売上原価率が大きく悪化したものの、既存店の好調により黒字を維持。

米国子会社

(単位：百万円)	2025年 2Q実績	2024年 2Q実績	前年同期比
売上高	1,098	862	+27.4%
営業利益	▲57	▲74	-
営業利益率	▲5.2%	▲8.7%	+3.5pt
中間純利益	▲124	▲61	-
為替レート(USD/JPY)	144.81円	161.07円	

■売上高 27.4% 増 (既存店▲19.6%)

- ・新店「Settecento」の立ち上げが順調に推移したため、米国全店では増収。
- ・既存店2店舗は山火事（ロサンゼルス近郊）の影響で大幅減収。
特に「1212（Santa Monica）」は避難勧告エリアの隣町に位置し、店舗設備への直接被害はないが、団体予約のキャンセル等、大きな影響を受けた。

■営業利益率 3.5ポイント 増

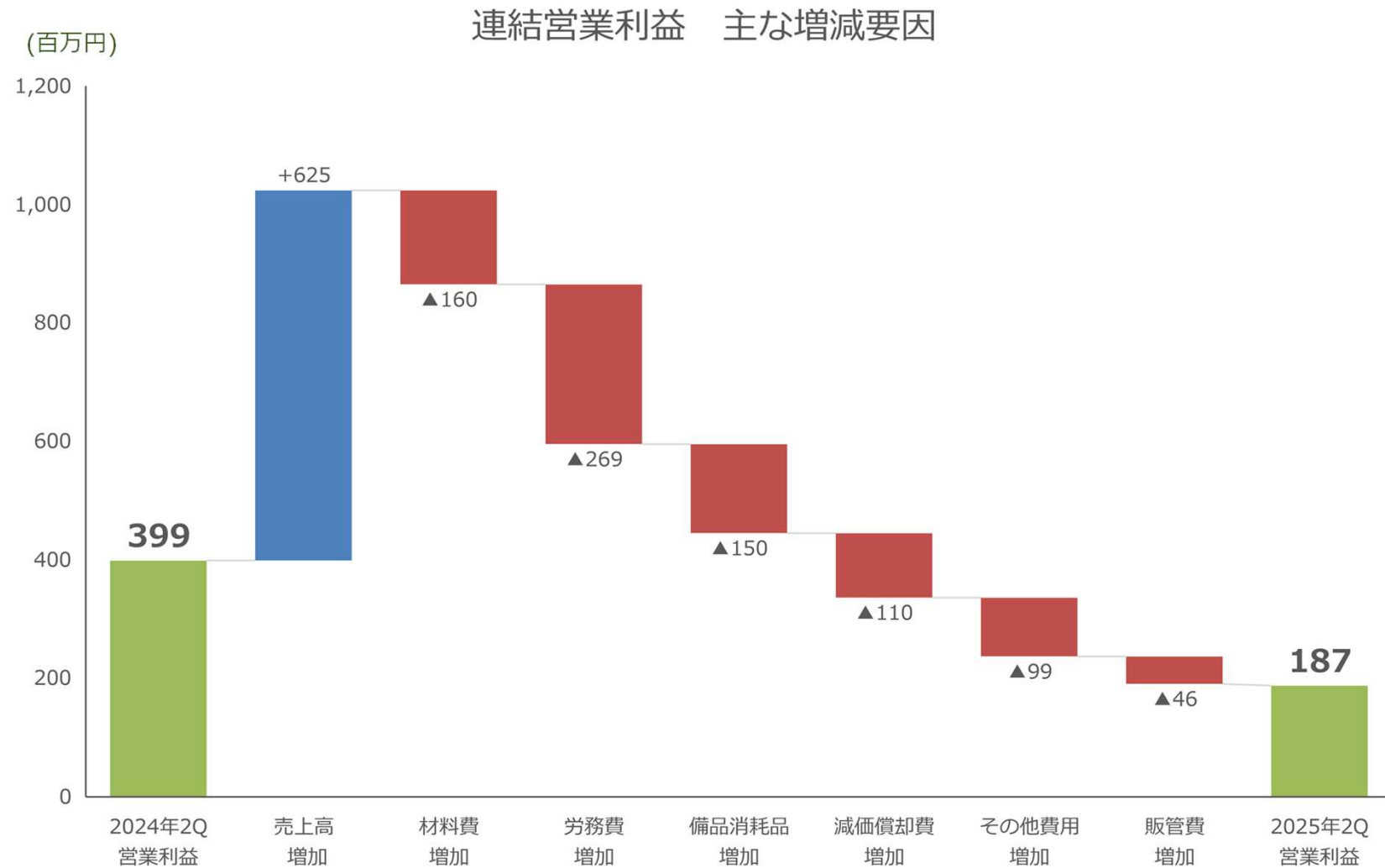
既存店は山火事の影響で大幅減収となったが、守りの営業でコスト厳守。新店の売上好調もあり、売上原価率は改善し、営業赤字は縮小。

■その他

親会社借入金(円建)の為替換算により為替差損50百万円（営業外損失）を計上。

※上記は連結修正前の会社別数値です。

(連結) 営業利益 (コスト) 増減要因



(連結) 貸借対照表の概要

(単位：百万円)	当期末 2025年6月末	前期末 2024年12月末	増減
資産合計	9,989	10,234	▲245
流動資産	1,643	2,043	▲399
（内 現預金）	(660)	(788)	(▲128)
固定資産	8,345	8,191	+154
負債合計	4,796	4,900	▲104
（内 有利子負債）	(2,531)	(2,360)	(+171)
流動負債	1,776	1,833	▲57
固定負債	3,020	3,066	▲46
純資産合計	5,192	5,334	▲141
資本金	48	46	+2
資本剰余金	2,148	2,146	+2
利益剰余金	2,642	2,631	+10
為替換算調整勘定	301	460	▲158
その他	50	48	+1
負債・純資産合計	9,989	10,234	▲245
流動比率	92.5%	111.4%	▲18.9pt
自己資本比率	51.7%	51.9%	▲0.1pt

■ 流動資産・固定資産

「現預金」

営業黒字や設備資金借入による増加の他、有利子負債の返済や新店設備投資による支出で**128百万円減少**

「建物・構築物・工具器具備品 等」

国内「那須パラダイスヴィレッジ」の設備工事等で**272百万円増加**

■ 流動負債・固定負債

「有利子負債」

銀行借入の通常返済による減少の他、設備資金借入による増加で**171百万円増加**

■ 純資産

中間純利益により**利益剰余金が増加**

(連結) キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円)	2025年 2Q実績	2024年 2Q実績	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	553	303	+250
投資活動による キャッシュ・フロー	▲829	▲731	▲98
財務活動による キャッシュ・フロー	163	152	+11
現金及び現金同等物 に係る換算差額	▲16	28	▲44
現金及び現金同等物 の増減額	▲128	▲247	+118
現金及び現金同等物 の期首残高	788	1,180	▲391
現金及び現金同等物 の中間期末残高	660	933	▲272

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

下記の内訳等により553百万円のキャッシュイン

(主な内訳)

税金等調整前中間純利益	: +112
減価償却費	: +199
為替差損益	: +56
未収入金の増減	: +47
売上債権／仕入債務の増減	: +24

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

国内「那須パラダイスヴィレッジ」および
米国「Settecento」の工事支払等で
829百万円のキャッシュアウト

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

銀行借入金の通常返済、設備資金の為の新規借入等で
163百万円のキャッシュイン

Ⅱ．事業計画サマリー

(連結) 2025年12月期 通期計画

連結

(単位：百万円)	2025年 2Q実績	対期初計画 進捗率(%)	2025年 通期計画	2024年 通期実績
売上高	6,402	47.5%	13,480	11,788
売上原価 ※	5,595		11,601	9,878
売上原価率	87.4%		86.1%	83.8%
販管費 ※	619		1,252	1,156
販管費率	9.7%		9.3%	9.8%
営業利益	187	29.9%	625	753
営業利益率	2.9%		4.6%	6.4%
経常利益	115	18.6%	622	751
中間(当期) 純利益	10	2.9%	366	514
為替レート(USD/JPY)	144.81円		155.00円	158.18円

■ 売上高

【国内】

既存店は品質にこだわった海外購買とホスピタリティ向上を継続し、上期同様前年同期比5%増を見込む。

その他「那須パラダイスヴィレッジ」※の3月オープンにより増収を見込む。

※上期実績110百万円・下期計画250百万円

【米国子会社】

既存店は期初想定したほど山火事の影響を長く引きずらず回復基調に。

新店は保守的計画を上回り順調に推移、下期もその傾向が続く見通し。

■ 売上原価(コスト)

【国内】

既存店上期実績においては、期初計画より改善したものの、下期計画においては昨今の原材料費高騰や人件費増加の影響に鑑みてコストを保守的に見積る。

また、新店準備費用の計上などもあり、通期売上原価率は前年対比で悪化する見込み。

【米国子会社】

上期実績においては、山火事による大幅減収の影響を受けつつも、守りの営業を行い期初計画より改善。

新店好調により、通期売上原価率は前年対比で改善する見込み。

Ⅲ. 2025年上期の概況

出退店等

2025年上期

■出店 なし

(参考) 2024年12月23日ソフトオープン2店舗

1月23日グランドオープン 『Settecento (セッテチェント) 』 (ダウンタウンLA)

3月19日グランドオープン 『那須パラダイスヴィレッジ』

■退店 なし

上期末店舗数

国内44 米国3

計47店舗 (前期末から変更なし)

F C店舗数

権八香港 2 上海1 計 3 店舗 (前期末から変更なし)



那須パラダイスヴィレッジ



Settecento (セッテチェント)

【2025年上期の主な取り組み】 ~再成長期に向けた節目の年~

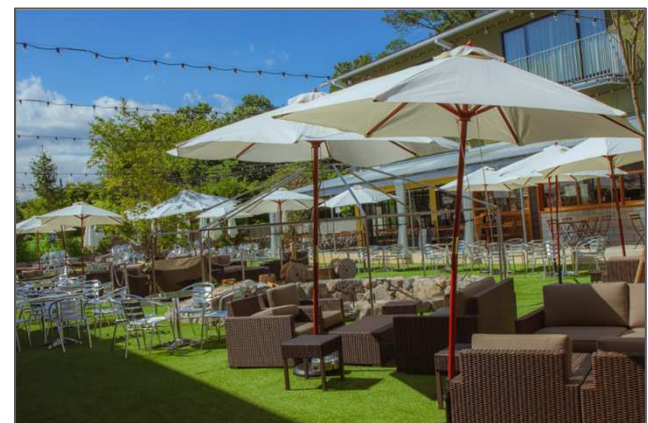
＜国内＞ 2025年は先行投資フェーズ

● 『那須パラダイスヴィレッジ』 2025年3月19日グランドオープン メニュー・空間の充実、オペレーション改善を同時進行でロースタートとなる

- ✓ 大規模、ホテル運営は新規参入、建築工事遅れ等により段階的な施設造りとオープン方式で展開
※2024年12月23日ホテル・権八のソフトオープンから開始
- ✓ 営業しながらメニュー&空間の充実とオペレーション改善を実施
- ✓ 近隣住民に向けたPR・販促活動とイベントの企画・実施
 - ⇒「那須特集」等へのメディア露出や近隣への販促広告
 - ⇒地元割（平日15%OFF） ※那須塩原市、那須町、大田原市在住の方対象
 - ⇒音楽ライブイベントの実施（フードコートエリア内）



2025年3月19日（水）グランドオープンイベントを実施



4月 ガーデンテラス席設置（ペット同伴可）

(国内) 業態別業績

既存店 売上高+5.7% 客数+1.4% 客単価+4.3%

既存店は、商品力とサービス面の地道な品質向上策実施やメニュー改定などにより、客数、客単価が共に上がり、増収増益。

(単位：百万円)			2025 2Q実績	(利益率)	2024 2Q実績	(利益率)	前年 同期比
ラ・ボエム	14 店舗 (前年±0)	売上高	1,536		1,404		+9.4%
		営業利益	300	19.5%	240	17.1%	+2.4pt
ゼスト (タコファナ)	5 店舗 (前年±0)	売上高	236		213		+10.8%
		営業利益	27	11.7%	23	11.1%	+0.6pt
モンスーン カフェ	9 店舗 (前年±0)	売上高	1,007		992		+1.5%
		営業利益	145	14.4%	158	16.0%	▲1.5pt
権八	7 店舗 (前年±0)	売上高	1,695		1,619		+4.7%
		営業利益	455	26.8%	418	25.9%	+1.0pt
Dinner	5 店舗 (前年±0)	売上高	495		466		+6.3%
		営業利益	60	12.3%	41	9.0%	+3.3pt
那須フードコート・ 那須パラダイスヴィ レッジ・その他 ※	4 店舗 (前年+1)	売上高	332		217		+52.8%
		営業利益	▲277	▲83.4%	2	1.2%	▲84.6pt
本部販管費	-	売上高	-		-		-
		営業利益	▲467	-	▲411	-	-
合計	44 店舗 (前年+1)	売上高	5,303		4,914		+7.9%
		営業利益	244	4.6%	474	9.6%	▲5.0pt

(店舗数前2Q末増減)

・那須P V開業により「那須F C・那須P V・その他」 + 1

※那須F C：那須フードコロシウム（那須ガーデンアウトレット内店舗）

※那須P V：那須パラダイスヴィレッジ（新店）

（注）フランチャイズ店は上記店舗数に含めておりません。

■ラ・ボエム

若手マネージャーの発掘育成に注力して登用が進んだことで組織全体が活性化、レベルの底上げに。また、メニュー改定が功を奏し、売上+9.4%、利益率は+2.4ポイントと大きく増収増益。

■ゼスト

既存店、特にタコファナティコが好調で+10.8%と大きく増収。牛肉やトウモロコシの粉などの米国輸入食材の高騰が大きく利益率は+0.6ポイントと微増。

■モンスーン

売上は+1.5%の微増。人材不足の店舗が多く、売り上げが伸びしきれず。またタイ米などの輸入食材や野菜類の高騰が響き、原材料費や労務費の調整遅れにより、利益率は1.5ポイント減。

■権八

インバウンド需要の伸びは若干鈍化してきたものの、堅調に推移し+4.7%と高い売上を維持出来た事により、労務費や固定費率が下がり、利益率は26.8%と大きく貢献。

■Dinner（ディナー）店

ミュージック&シガーバーのタブローズラウンジが引き続き好調で売上+6.3%と増収。レガートの収益性が高まり、利益率は+3.3ポイント増益。

■那須F C&那須P V&その他

新店那須P Vが3月グランドオープンで増収、出店費用計上で大きく減益。

■本部販管費

賃上げによる労務費増加と全店キャッシュレス決済による信販料増加。

<米国> (カリフォルニア州)

2025年は先行投資フェーズの中、経済環境暗雲でスタート

1月：大規模山火事発生

6月：ロサンゼルスダウンタウン地区で夜間外出禁止令発令 (6/10 ~ 6/17早朝)

● 厳しい状況下からの売上・収益改善

- ✓ 今期業績計画は保守的に組まざるを得ない状況からスタート
- ✓ 『1 2 1 2』 (サンタモニカ地区) は1-2月に火事による影響を大きく受け、守りの営業で損失を最小限に食い止め、その後売上は回復
- ✓ 『La Boheme』 (ウエストハリウッド地区) は1月のみ大きく売上を落とすも、2月以降は昨年対比を上回る売上を記録

● 15年振りの新規出店『Settecento(セッテチェント)』 1月23日グランドオープン

- ✓ イタリア輸入小麦で手作りしたパスタとピザ、インテリアデザインやガーデンパティオが好評。ピザ・パスタは原価率も安定。
- ✓ 火災の影響はほぼなく、開店以降売上は順調で、期初計画を超えて推移
- ✓ 6月のデモ・夜間外出禁止令による影響を一時的に受けるも、その後回復基調に

● 人材採用・教育の徹底

- ✓ 売上を上げられる採用と教育に注力し、チーム体制を整備・継続
- ✓ 経営環境に応じて運営体制や業務プロセスを効率化したことで人件費削減を実現

(米国子会社) 業態別業績

(単位：百万円)		2025 2Q実績	(利益率)	2024 2Q実績	(利益率)	前年 同期比
ラ・ボエム	売上高	378		429		▲11.9%
	売上総利益	51	13.5%	53	12.4%	+1.1pt
1212	売上高	315		433		▲27.3%
	売上総利益	7	2.4%	4	1.0%	+1.4pt
Settecento (新店舗)	売上高	405		0		-
	売上総利益	▲3	-	▲19	-	-
本部販管費	売上高	-		-		-
	営業利益	▲112	-	▲113	-	-
合計	売上高	1,098		862		+27.4%
	営業利益	▲57	▲5.2%	▲74	▲8.7%	+3.5pt
為替レート(USD/JPY)		144.81円		161.07円		

【参 考】 (単位：千USドル)		2025 2Q実績	(利益率)	2024 2Q実績	(利益率)	前年 同期比
ラ・ボエム	売上高	2,612		2,666		▲2.0%
	売上総利益	352	13.5%	330	12.4%	+1.1pt
1212	売上高	2,175		2,688		▲19.1%
	売上総利益	51	2.4%	26	1.0%	+1.4pt
Settecento (新店舗)	売上高	2,797		0		-
	売上総利益	▲21	-	▲118	-	-
本部販管費	売上高	-		-		-
	営業利益	▲776	-	▲704	-	-
合計	売上高	7,586		5,355		+41.7%
	営業利益	▲393	▲5.2%	▲465	▲8.7%	+3.5pt

※為替の影響を排除したドルベースの業績

■ラ・ボエム ※ワシントン州地区

1月は山火事の影響から大きく売上を落とすも、サービスレベルの向上により1月以外では昨対で売上を伸ばし、円ベースでは円高の影響で昨対11.9%減収だが、ドルベースでは昨年同等の売上まで回復しており、粗利も改善。

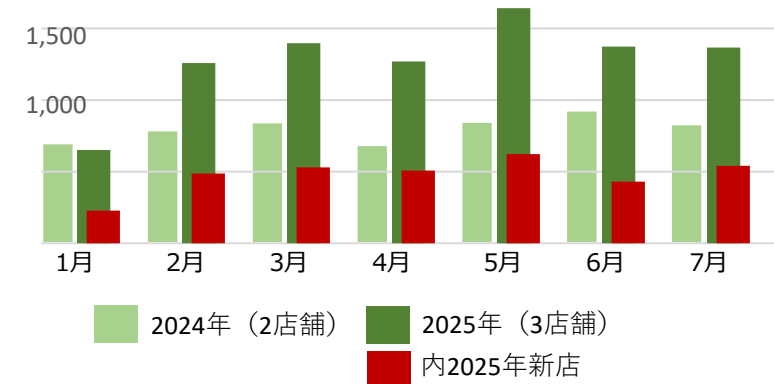
■1212 (twelve twelve) ※サンフランシスコ地区

山火事の現場から近く、数ブロック先は避難勧告地域となり、店舗への直接被害は無いものの、団体予約キャンセル等により1-2月は大きく売上を落とす。守りの営業を徹底し損失を最小限に抑えて、メニュー改善やサービスの教育強化で攻めの体制を整えた結果、上期中に売上は想定より回復し、粗利改善。

■セッテチェント ※サンフランシスコ市ダウンタウン地区

地名度ある経済紙等で評価され、開業から順調に推移。出店時の良くない周辺環境から保守的な業績計画を立てたが、それを上回る好調さを維持。6月はデモ・夜間外出禁止令による影響が一時的にあったものの、7月度売上は回復傾向に。

(千USドル) 米国月次売上高推移 (ドルベース)



IV. 2025年下期の取り組み

【2025年下期の取り組み】 国内 ~新しい商業施設パッケージ創造へのチャレンジ~

<国内>

● 『那須パラダイスヴィレッジ』（NPV）の認知度向上

- ✓ 季節毎にイベントや館内装飾を実施し、施設の魅力・存在感を高める
7月開始：音楽イベント、ファーマーズマーケット、ビアガーデン（期間限定）
今後予定：ハロウィン装飾、クリスマスイルミネーション等
- ✓ 隣接する那須ガーデンアウトレットからの導線の改善と案内看板設置
- ✓ 関東近隣県への訴求により観光・行楽客を引き寄せ
⇒ 7月の関東圏TV番組出演後、宿泊予約や問い合わせが増加
- ✓ 平日地元割（15%OFF）継続 ※那須塩原市、那須町、大田原市在住の方対象



ハロウィン装飾（イメージ）



クリスマスイルミネーション（イメージ）

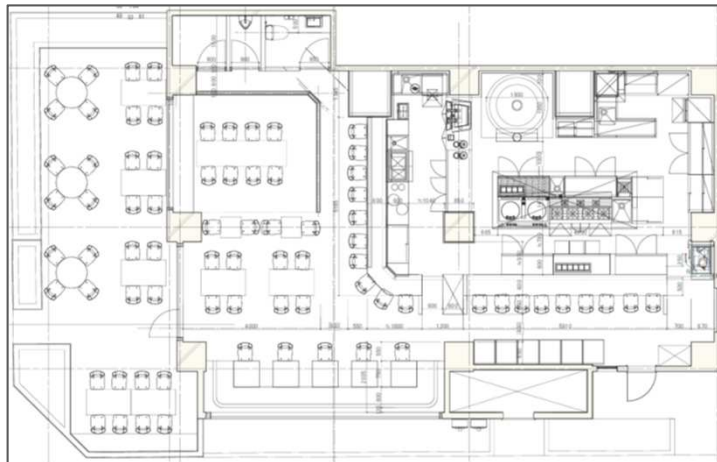
【2025年下期の取り組み】 国内 ~コンスタントな大都市圏での出店~

● 『カフェ ラ・ボエム下北沢』 2025年10月オープン（予定）

所在地：東京都世田谷区代沢 2 - 29 - 12
パークアクシス下北沢 1 F（茶沢通り沿い）
施設規模：店舗面積 約46坪
席 数：店内&テラス合わせて 80席（予定）
想定月商：1,300万円



テラス席イメージ（ペット同伴可）



施工図



店内イメージ

【2025年下期の取り組み】国内 ~再成長期への変化に対応~

● サプライチェーンの進化（仕入の最適化）

- ✓ 物価上昇、輸入食材高騰に対応するため海外生産者と直接交渉・契約
- ✓ コスト低減の他、品質へのこだわりや当社のみでしか味わえない差別化商品開拓

（実績）・パスタ、ワイン、オリーブオイル、コーヒー豆、マサ粉(タコス用)、エビなど
・那須パラダイスヴィレッジではコーヒー豆を自家焙煎して提供

※インドネシア アルジュナ山

（今後）・チーズ、チョコレートなど品目拡大
・都内ラ・ボエムにてコーヒー豆を店舗で焙煎して提供予定
・国内の食材開拓も同様に推進

⇒品質・価格の両面からのアプローチで顧客満足度向上を図る

● 人材発掘・育成 ~部下の才能を見出し育成する管理職の成長に手応え~

- ✓ 料理・サービスなどの各種コンテストや講習会にて次世代幹部候補発掘
- ✓ 若手育成プログラムから店長・チーフ（店舗の料理長）就任者を輩出
- ✓ 土台となる企業理念浸透と公平公正な組織運営方針の徹底

GD組織運営方針

- ・言いたいことを言う権利
- ・徹底した情報公開
- ・必ず公開討論
- ・決定プロセスに参加させる

【2025年下期の取り組み】 米国 ~新店が利益貢献するフェーズに向けて注力~

- ＜米国＞
- ・ 全米の中でも高い最低時給 \$ 19.65（ウエストハリウッド地区）
 - ・ 関税 ※参考：ロサンゼルス市 \$ 17.87、サンタモニカ地区 \$ 17.81
 - ・ 米国雇用統計悪化

企業経営には厳しい環境下での運営が続く中、

- 『Settecento』（セッテチェント）の営業体制強化
 - ✓ マネジメントチームの確立
 - ✓ 週末のウェディング等のパーティー獲得でさらなる売上拡大を目指す
- 全店において業務分担の明確化による人件費合理化の推進
- 下期における米国業績の黒字化実現を目指す

【2025年下期の取り組み】株主還元について

● 株主還元の考え方

- ✓ 上期で那須や米国新店への大型投資に一区切りつき、復配実現を目指す
- ✓ 第3四半期の業績、財務状況をもって実施時期等を判断
- ✓ 配当性向についても重要指標と認識し、中期経営計画公表とあわせて検討を進める

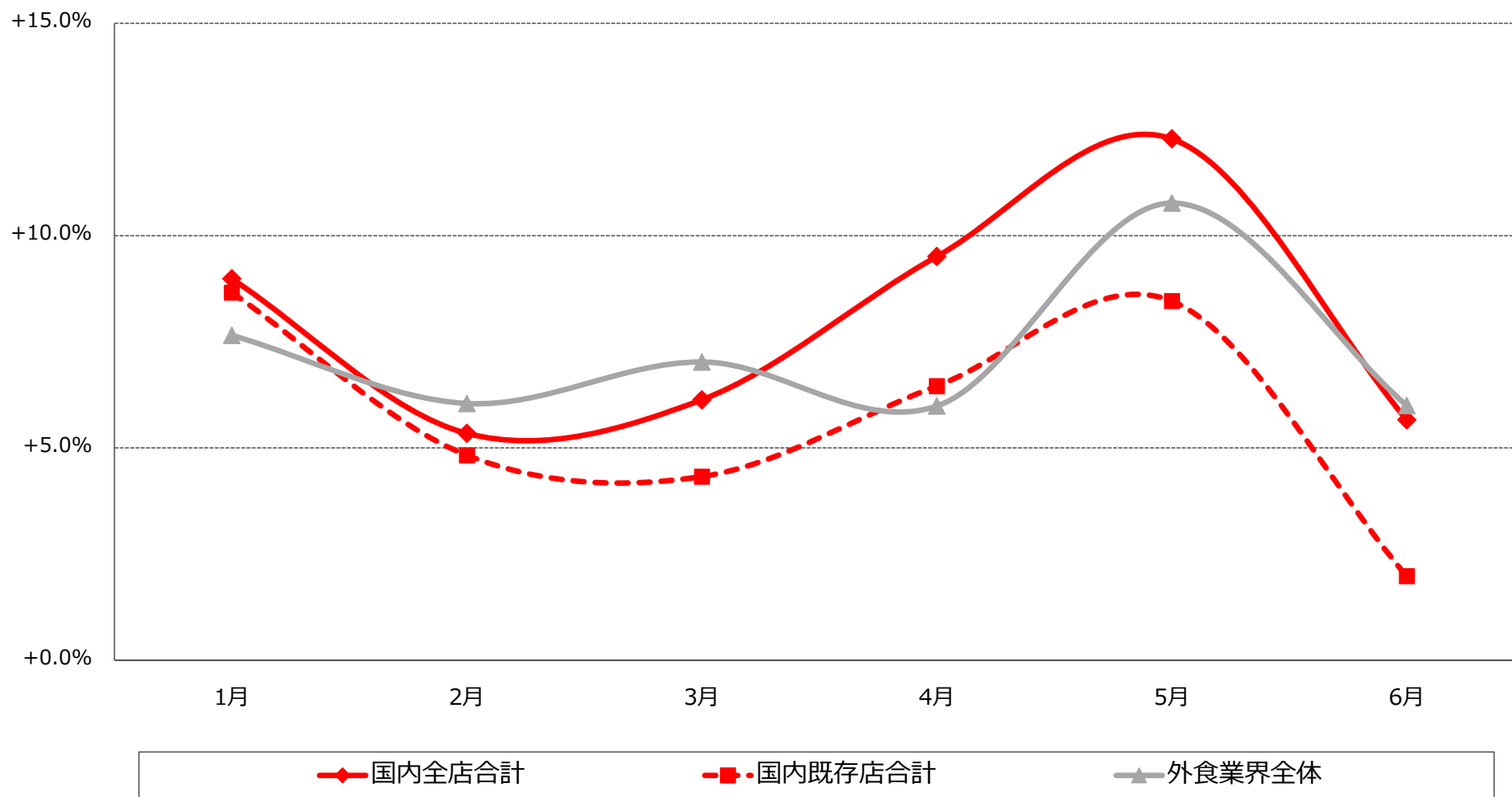
● 株主優待

- ✓ 10/1より『那須パラダイスヴィレッジ』（ホテル含む）を株主優待対象施設に追加
※利用要領の詳細は9月中旬発送予定の株主優待証に記載

參考資料

(国内) 2025年2Q 売上高前年対比率 月次推移

※業界全体の数値は、一般社団法人日本フードサービス協会のデータを参考にしております。



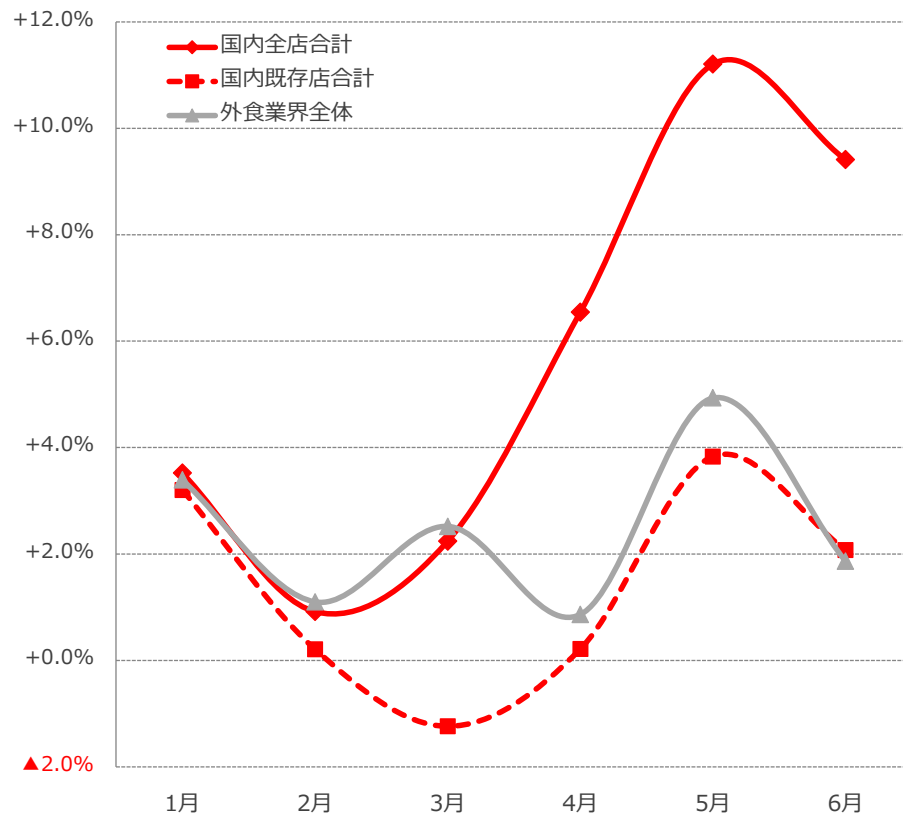
2025年12月期 2Q
全店 +7.9%
既存店 +5.7%

2025年2Q 出退店

3月 「那須パラダイスヴィレッジ」 オープン

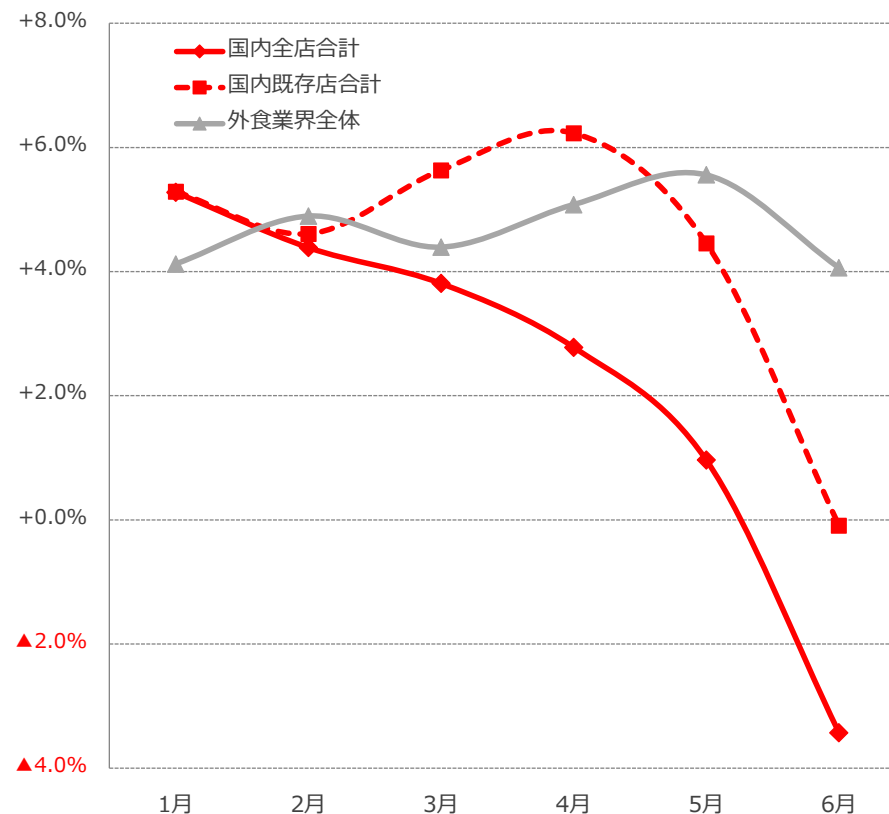
(国内) 2025年2Q 客数・客単価の前年対比率 月次推移

客 数



2025年12月期 2Q
全店 +5.8%
既存店 +1.4%

客 単 価

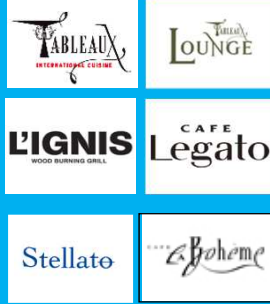


2025年12月期 2Q
全店 +2.1%
既存店 +4.3%

※業界全体の数値は、一般社団法人日本フードサービス協会のデータを参考にしております。

(連結) 展開コンセプト

計47店舗 (2025.6月末)

カフェ ラ・ボエム	モンスーン カフェ	権 八	ゼスト キャンディーナ	ディナー店	※ F C ・ その他 業 態
   イタリアン	   エスニック	   創作和食 & 寿司	   テックスメックス	 米国   6店舗	 米国   6店舗
※ 1,536百万円	1,007百万円	1,695百万円	236百万円	873百万円	1,053百万円
※ 24%	16%	26%	4%	14%	16%

※上記金額&シェアは、2025年12月期第2四半期(中間期)の連結売上高とそのシェア(%)を記載しております。

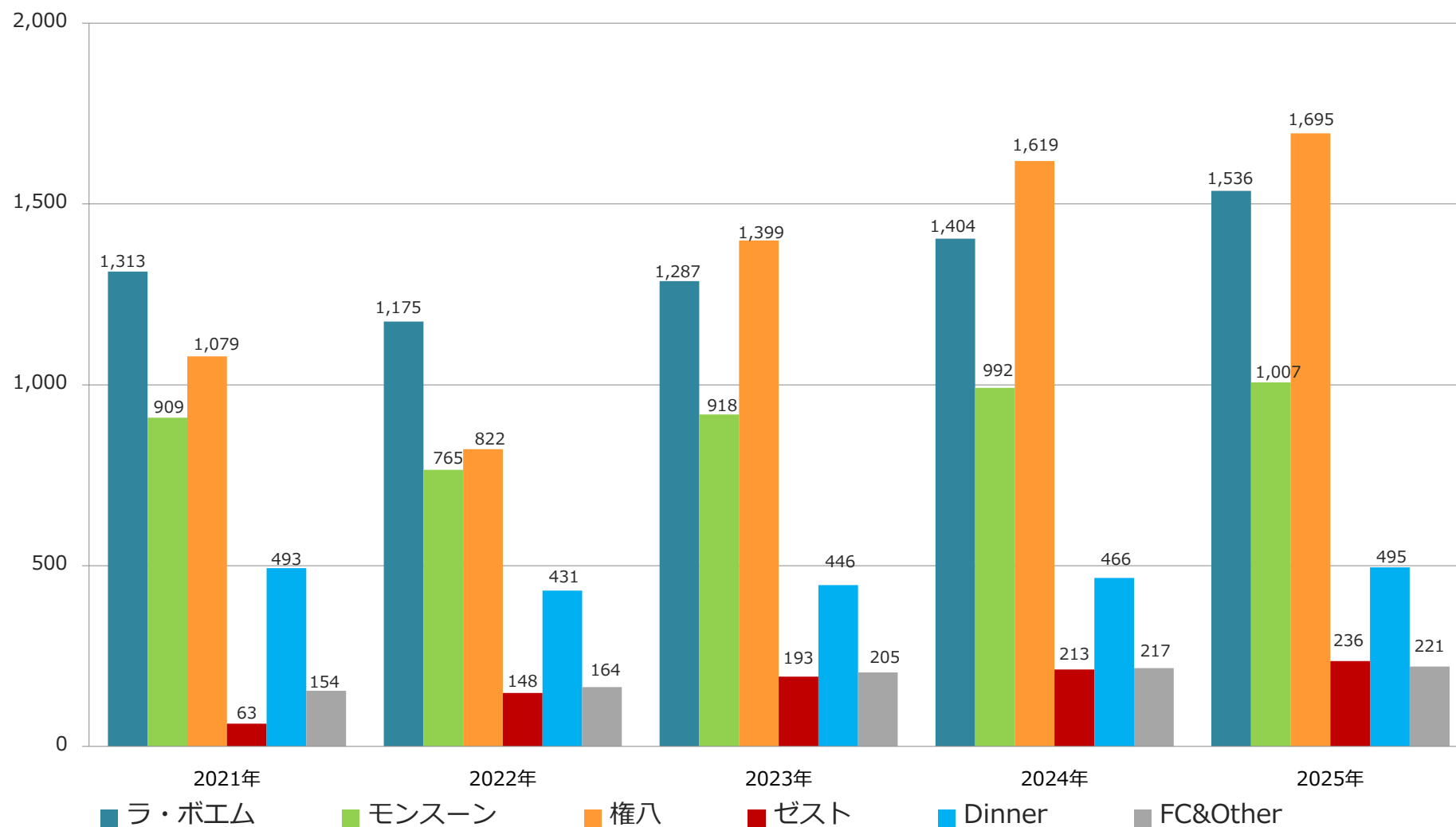
※コンセプトの「FC」は、「FOOD COLOSSEUM(フードコート業態)」の略です。

※「FC・その他業態」に含まれる「ウェディングサロン」「フランチャイズ店」は店舗数に含めておりません。

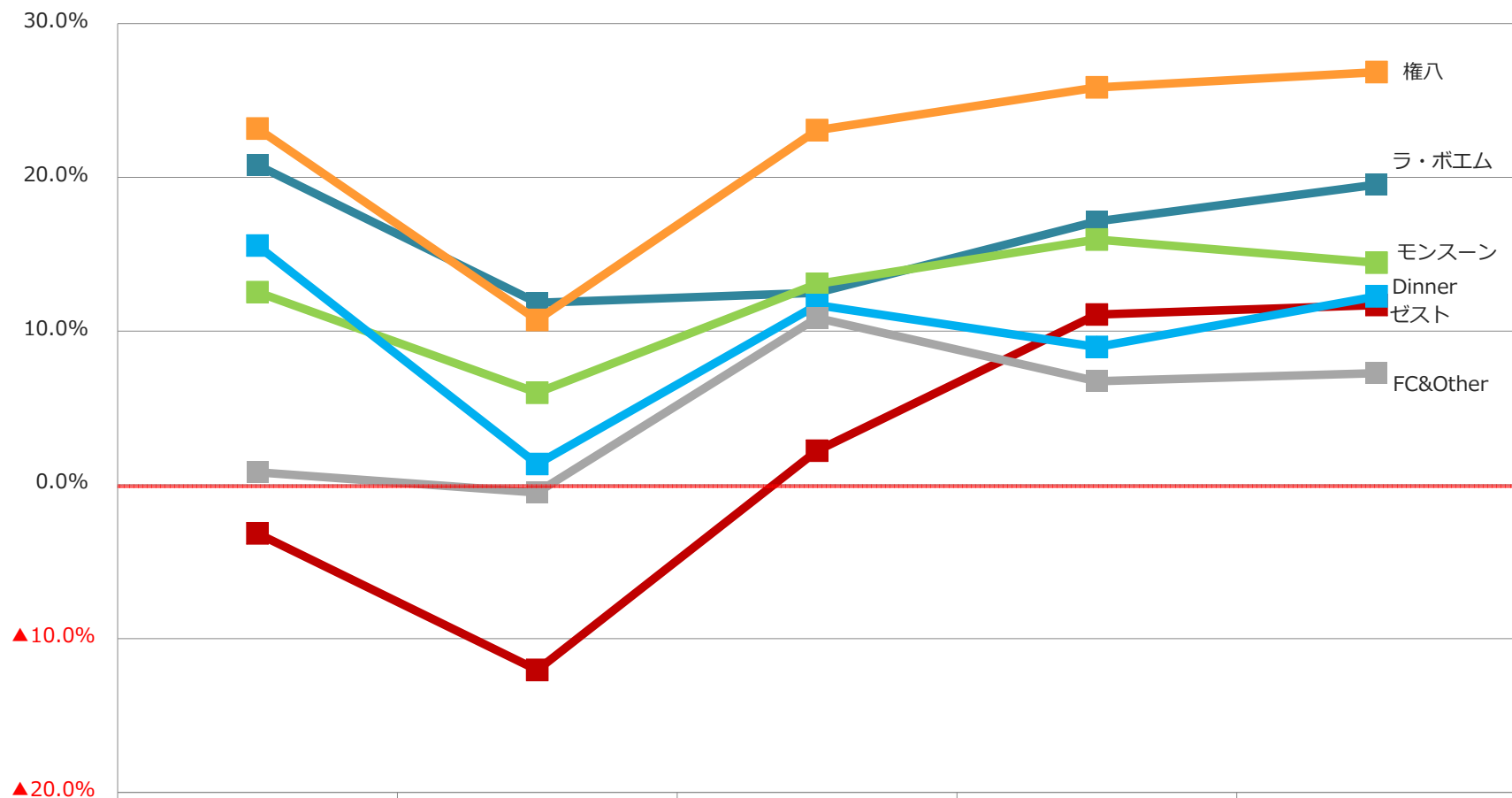
★『権八』(西麻布店)は、小泉元総理とブッシュ元米大統領との会談場所として、また映画「キルビル」の舞台のモデルとして、広く外国人に認知されている業態です。

（国内）既存店コンセプト別売上高 2 Q（中間期）5 期推移

（単位：百万円）



(国内) 既存店コンセプト別営業利益率 2Q (中間期) 5期推移



	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
ラ・ボエム	20.8%	11.8%	12.5%	17.1%	19.5%
モンスーン	12.5%	6.0%	13.1%	16.0%	14.4%
権八	23.2%	10.7%	23.1%	25.9%	26.8%
ゼスト	▲3.2%	▲12.0%	2.2%	11.1%	11.7%
Dinner	15.6%	1.3%	11.7%	9.0%	12.3%
FC&Other	0.8%	▲0.5%	10.9%	6.7%	7.3%

(国内) 2025年2Q 損益計算書概要

2025年12月期 第2四半期	合計	ラ・ボエム	ゼスト (タコファナ)	モンスーン カフェ	権八	Dinner	那須フードコー ト・その他	那須PV	本部 販管費
売上高	5,303	1,536	236	1,007	1,695	495	221	110	-
売上原価	4,552	1,224	202	855	1,214	433	201	400	20
売上総利益	751	311	34	151	480	61	20	▲289	▲20
販管費	506	11	6	6	25	1	4	3	447
営業利益	244	300	27	145	455	60	16	▲293	▲467
営業利益率	4.6%	19.5%	11.7%	14.4%	26.8%	12.3%	7.3%	-	-
期末店舗数	44	14	5	9	7	5	3	1	-

2024年12月期 第2四半期	合計	ラ・ボエム	ゼスト (タコファナ)	モンスーン カフェ	権八	Dinner	那須フードコー ト・その他	那須PV	本部 販管費
売上高	4,914	1,404	213	992	1,619	466	217	0	-
売上原価	3,980	1,142	185	816	1,182	423	200	12	17
売上総利益	933	262	28	175	436	42	17	▲12	▲17
販管費	459	21	4	17	18	1	3	0	393
営業利益	474	240	23	158	418	41	14	▲12	▲411
営業利益率	9.6%	17.1%	11.1%	16.0%	25.9%	9.0%	6.7%	-	-
期末店舗数	43	14	5	9	7	5	3	0	-

(単位：百万円)

※Dinner：「タブローズ」「タブローズラウンジ」「カフェ レガート」「リグニス」「ステラート」

※その他：「デカダンスデュ ショコラ」「バルティザン ブレッド ファクトリー」(小売)の他、ウエディングサロンの売上高や海外フランチャイズ店からのロイヤルティ収入が含まれます。なお、ウエディングサロンやフランチャイズ店は店舗数に含めておりません。

※那須PV：那須パラダイスヴィレッジ(新店)

(店舗数前2Q末増減)

・那須PV + 1

(米国子会社) 2025年2Q 損益計算書概要

2025年12月期 第2四半期	合計	ラ・ボエム	1212 (twelve twelve)	Settecento	本部販管費
売上高	1,098	378	315	405	-
売上原価	1,043	327	307	408	0
売上総利益	55	51	7	▲3	0
販管費	112	0	0	0	112
営業利益	▲57	51	7	▲3	▲112
営業利益率	▲5.2%	13.5%	2.4%	-	-

2024年12月期 第2四半期	合計	ラ・ボエム	1212 (twelve twelve)	Settecento	本部販管費
売上高	862	429	433	0	-
売上原価	824	376	428	19	0
売上総利益	38	53	4	▲19	0
販管費	113	0	0	0	113
営業利益	▲74	53	4	▲19	▲113
営業利益率	▲8.7%	12.4%	1.0%	-	-

(単位：百万円)

※上記は業績管理用の決算整理前数値です。

2025年12月期2Q（中間期）赤字店舗一覧

	店 舗 名	2025年 中間期		備考
		売上高	売上総利益	
1	Nasu Paradise Village（那須塩原）	110,961	▲289,733	
2	ステラート ※旧カフェラ・ボエムペントハウス	16,745	▲21,439	
3	タブローズ（代官山）	29,314	▲21,158	
4	モンスーンカフェ ららぽーと愛知東郷	30,236	▲5,083	
5	ウェディングサロン	27,520	▲3,874	

（単位：千円）

会社概要

社 名	株式会社グローバルダイニング（GLOBAL-DINING,INC.）
本 社 所 在 地	東京都港区南青山七丁目1番5号
設 立	1973年10月5日
資 本 金	48百万円
事 業 内 容	首都圏を中心とするレストラン経営及び宿泊複合施設の運営
代 表 者	代表取締役社長 長谷川 耕造
従 業 員 数	単体174名（臨時雇用者746名） 連結194名（臨時雇用者850名）
子 会 社	GLOBAL-DINING, INC. of CALIFORNIA
主 要 取 引 銀 行	三菱UFJ銀行、三井住友銀行、静岡銀行、みずほ銀行、横浜銀行、日本政策金融公庫、商工中金

上 場 市 場	東京証券取引所 スタンダード市場【コード：7625】
上 場 日	1999年12月7日
発行済株式総数	10,420,800株
株 主 数	3,546名
事 業 年 度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株式の売買単位	100株

website： <https://www.global-dining.com/>

※2025年6月末時点

注意事項

- ・本資料は情報提供を目的としており、当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
- ・本資料における将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。
- ・本資料の全部または一部の無断複製や転用等のご遠慮ください。

Disclaimer

- ・ This document is intended to provide information of our company only. This information is not intended to solicit buying or selling our company's stock.
- ・ This document contains forward-looking statements which represent the company's expectations or beliefs concerning future events. The company's actual results could differ materially from those stated or implied in the forward-looking statements herein.
- ・ Please refrain from replicating or diverting this document without prior approval from Global-Dining, Inc.



＜資料に関するお問い合わせ＞
総務管理グループ
(IR) 050-5444-9868
stock@global-dining.com